

後援



Maison des Sciences de l'Homme
Paris Nord

ユマニス・パリ・デカルト大学・パリ市・フランス国立科学研究センター・自立連帯金庫・パリ第8大学・日本国際交流基金・パリ・ノール人間科学館

パートナー研究所

IAO

リヨン高等師範学校
東洋アジア研究所

PHICO

パリ第1大学

CERLIS

パリ・デカルト大学
社会関係研究センター

UTRPP

パリ第13大学
精神発生学と精神病理学の
複合研究グループ

LABTOP

パリ第8大学
政治理論研究室

運営委員

- オレリー・ダマム
(パリ第8大学、CRESPPA-GTM)
- エレナ・ヒラタ
(CRNS-CRESPPA-GTM、コーディネーター)
- エフティミア・マクリドゥ
(パリ第8大学博士過程、CRESPPA-GTM)
- マルガレット・マルアニ
(パリ・デカルト大学CERLIS-MAGE-CNRS)
- パスカル・モリニエ
(パリ第13大学、UTRPP)
- パトリシア・パペルマン
(パリ第8大学、LABTOP)
- アラン・スマグ
(Humanisグループ「ケアのための運動」)
- 杉田くるみ
(IAO-CNRS)

学術研究委員

- ナディア・アラウジョ・ギマラエス
(ブラジル サンパウロ大学CEBRAP)
- 伊藤るり
(一橋大学)
- ダニエル・ケルゴアット
(CNRS CRESPPA-GTM)
- サンドラ・ロジエ
(パリ第1大学 PHICO)
- ヴィラ・ソルジ
(ブラジル リオデジャネイロ連邦大学)
- フロランス・ウェベール
(フランス国立高等師範学校CMH)
- ヴィヴィアナ・ゼリザー
(アメリカ プリンストン大学)

アクセス



パリ・デカルト大学 大講堂
サンジェルマン大通り 83番地 - パリ第6区

自由参加登録はこちらから：
www.agirpourlecare.com

ご案内はこちらから：
agirpourlecare@humanis.com



ケアの理論と実践、 国際比較

国際シンポジウム

2013年
6月13日(木) - 14日(金)

パリ・デカルト大学 大講堂
サンジェルマン大通り 83番地 - パリ第6区

写真：
「理論」と「実践」の握手
パリ・デカルト大学ベディ
メント部分のブリュエール作
のレリーフ

主催

- 国際学際研究ネットワーク「労働市場とジェンダー」
(MAGE) - フランス国立科学研究センター (CNRS)
- パリ政治社会学研究センター「ジェンダー・労働・流動性」
グループ (CRESPPA-GTM) - フランス国立科学研究
センター (CNRS)
- 「ケアのための運動」ユマニス(Humanis)グループ



当シンポジウムの目的

「ケアの理論と実践、国際比較」を主題とした当国際シンポジウムは、労働としてのケアの意義、実践、政策をめぐる問題に新たな視点を提供することをねらいとします。ケア労働は実践的、技術的であるばかりではなく、感情に関わる側面をもち、様々なアクターの間の、ジェンダー間、階級間、「人種」/民族間の社会関係によって形づけられています。この場合アクターとは、ケアの担い手、受け手、またケア労働を規定し、指導、監督する全ての人々を指します。ケアとは、単に思いやりの姿勢だけでなく、他者の必要に応じるための一連の具体的行為や人間関係等を含めた労働です。またケアとは、報酬の有無にかかわらず、他者の生活とウェルビーイングに対して責任感をもってサービスや援助、支援を提供

する関係と定義づけることもできます。

このシンポジウムの目的は、研究者と、介護の実務にあたっている人々を一堂に集め、それぞれの経験を照らし合わせ、各国でのケア労働の実態を明らかにすることです。こうした観点から、フランス国内外の研究者や大学教員が参加する国際ネットワーク「労働市場とジェンダー」(MAGE)、特に高齢者や障がい者を対象にしたケアの分野での研究者や施設内外を問わず介護の実務にあたっている人々を集めた「ケアのための運動」ユマニス(Humanis)グループ、そして労働、ジェンダー、市民権の問題に焦点をあてたCresppa-GTM研究所によってこの会議は企画されました。

6月13日(木)

同時通訳
・フランス語 ・英語
・日本語 ・ポルトガル語

8h30	受付
9h00 開会の挨拶	主催者
午前の部 9h15-13h00	議長：マルガレット・マルアニ(社会学者、パリ・デカルト大学CERLIS-CNRS-MAGE)
ケアと 社会関係	9h15-9h45 > エヴリン・ナカノ・グレン(社会学者、アメリカ、カリフォルニア大学バークレイ校) > ケアにおける人種、ジェンダーと女性の義務
	9h45-10h15 > エレナ・ヒラタ(社会学者、CRESPPA-GTM); エフティミア・マクリドゥ(社会学者、CRESPPA-GTM); ミリアン・マツオ(社会学者、ブラジル労働雇用省フンダセントロ) > ケア労働をめぐる日本、ブラジル、フランス間の比較
	10h15-10h45 > パスカール・モリニエ(心理学者、パリ第13大学、UTRPP) > ケアの職業化に際する障害
	10h45-11h15 > コーヒーブレイク
	11h15-11h45 > 小ヶ谷千穂(社会学者、横浜国立大学、IMAGE) > 日本のケア労働におけるフィリピン移民女性
討論 11h45-13h00	11h45-12h15 > 討論者： アンジェロ・ソアレ(社会学者、カナダ、ケベック大学モントリオール校)； ダニエル・ケルゴアット(社会学者、CRESPPA-GTM)
	13h00-14h30 - 昼食休憩
午後の部 14h30-18h30	議長：マーク・ベッサン(社会学者、IRIS/CNRS/EHESS、パリ第13大学)
ケアと依存	14h30-15h > アラン・スマグ(老年医学専門医、「ケアのための運動」ユマニス・グループコーディネーター) > 「要介護高齢者」に日々付き添う人々へケアの理論が伝えること
	15h-15h30 > クロッド・ブアジス(要介護高齢者入所施設EHPAD所長)；エミロ・ド・ロダ > 要介護高齢者入所施設でケアの共通認識を高めるには
	15h30-16h00 > 高橋道也(社会福祉法人 恵林 支援課課長) > 日本における「グループホーム」
	16h-16h30 > セルジオ・バスコアル(老年医学専門医、ブラジル、サンパウロ厚生事務局、サンパウロ大学医学部) > 公共事業と依存、ブラジルの経験
討論 16h30-17h45	16h30-17h > 討論者： リス・ビュルガド(技術顧問、自立連帯金庫CNESA)； ギタ・グリン・デペール(人類学者、ブラジル、カンピーナス大学)
映画上映	18h-18h30 > 映画「エミリーの春」上映 ジョジアンヌ・メス監督
	18h30 > カクテルパーティ(パリ・デカルト大学提供)

6月14日(金)

同時通訳
・フランス語 ・英語
・日本語 ・ポルトガル語

8h30	受付
午前の部 9h00 - 13h00	議長：フロランス・ウェベール(人類学者、モーリス・ヘアルブヴァクスセンター/障がい社会科学センター、フランス国立高等師範学校)
ケア、家族と 在宅労働	9h-9h30 > 上野千鶴子(社会学者、東京大学) > 長期介護保険(LTCI)の家族介護への影響 誰がどこで誰のケアをするのか？ 2000-2012年の日本の経験
	9h30-10h > パトリシア・パベルマン(社会学者、パリ第8大学、LABTOP) > ケアと差別：障がい者の場合
	10h-10h30 > オレリー・ダマム(社会学者 パリ第8大学、CRESPPA-GTM)、太田美帆(社会学者、東洋アジア研究所)、杉田くるみ(人類学者、東洋アジア研究所 フランス国立科学研究センター、リヨン高等師範学校) > 在宅ケアについて交差する視点 イル・ド・フランスと大阪の調査から
	10h30-11h > 岡田渚(緑寿園ケアマネージャー) > 在宅介護の担い手であるヘルパーに求められる専門性とは何か 柏崎彩花(社会学者、一橋大学修士課程、元訪問介護員) > 介護の社会化以後、何がおこったか。 訪問介護員の困難
	11h00-11h30 > コーヒーブレイク
討論 11h30-13h	11h30-12h > 討論者： クリステル・アヴリル(社会学者、パリ第13大学、IRIS) ウィラ・ソルジ(社会学者、ブラジル、リオデジャネイロ大学、IFCS)
	13h00-14h30 - 昼食休憩
午後の部 14h30-17h30	議長：ナディア・アラウジョ・ギマラス(社会学者、ブラジル サンパウロ大学、CEBRAP)
ケアと パブリック・ アクション	14h30-15h > アナ・アメリカ・カマラノ(人口統計学者、ブラジル、応用経済研究所IPEA) > 高齢者長期介護 新たな社会リスクの課題か？
	15h-15h30 > クロード・マルタン(社会学者、ヨーロッパ政治的行為研究所、レンヌ第一大学、公衆衛生高等研究院、CNRS) > いかにしてケアがパブリック・アクションにとって無視できないものになったか
	15h30-16h > ジタ・カベ・オブラ(フランス民主労働総同盟CFDT秘書、イル・ド・フランス個人事業主雇用者課) > 高齢者在宅支援ヘルパーの労働組合
	16h-16h30 > 田原聖子(東京介護福祉労働組合特別執行委員) > 劣化する介護労働と移住労働者の組織化
討論 16h30-17h30	16h30-17h00 > 討論者： フロランス・ジャニ・カトリス(経済学者、リール第1大学、リール社会学経済学調査研究センター) 神尾真知子(法学者、日本大学法学部法律学科教授)
	17h30 > シンポジウム終了